

大阪AALA第3回文化フェスティバル

ラテン音楽のつどい

ベネズエラ:クワトロの巨匠

チェオ&ダビ・ウルタード デュオ

チェオ・ウルタード
ダビッド・ウルタード

ベネズエラの民族楽器クワトロ
(4弦ギター)の第一人者のお二人です



& frap



関西在住の打楽器3人と
ピアノ1人の4人組

とき **11月9日(水)**

開演:午後6時~8時 開場:午後5時

ところ **大阪市阿倍野区民センター・小ホール**

地下鉄谷町線「阿倍野」駅⑥号出口から南へ100m

参加協力券 前売り 2,500円 当日 3,000円
中・高生・障がい者 1,500円



会場略図



主催 大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会
〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F
TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361 E-mail: osakaaala@nifty.com



Embajada de la República Bolivariana
de Venezuela en Japón

後援 ベネズエラ・ボリーバル共和国駐日大使館

出演者 チェオ&ダビ・ウルタード デュオ 紹介



CHEO & DAVID HURTADO STRING DUO

VENEZUELAN CULTURAL WEEK in JAPAN 2016

「チェオ&ダビ・ウルタード デュオ」は、ベネズエラ民族楽器を演奏するウルタード兄弟のデュオで、彼らは音楽一家に生まれ、父親はベネズエラの南西部で非常に有名なビッグ・バンドのミュージシャンでした。

ウルタード一家は皆、音楽家か芸術家で、家庭や友人の集まりでは常に一緒に演奏したり歌ったりしていたので、彼らの出身地であるシウダ・ボリバル（ボリバル州都）では非常に有名でした。

ウルタード家で最も傑出していたのがアストゥルバル（通称チェオ）とダビで、勿論のことプロのミュージシャンになりました。幼少時代からクアトロ（ベネズエラの4弦ギター）を弾き始め、ベネズエラの国民的楽器であるクアトロの偉大なマエストロにまでなったのです。

チェオ、ダビともに日本を含め世界中をツアーし、両名とも1990年代以降数回来日しています。

先見の明がある石橋純教授のおかげで彼らは日本全国で演奏し、特に同氏が教授をしている東京大学の駒場キャンパスでは毎回演奏してきました。

ウルタード兄弟は、そのプロフェッショナルな技術と素晴らしいミュージシャン精神で日本で大きな成功を収めました。日本の聴衆は彼らのクアトロの演奏を聴いて、クアトロの、そして我々の美しい正統派音楽のファンになっています。

2016年日本ツアーでもまた、彼らはベネズエラのメロディーとハーモニーを奏でるその素晴らしい演奏で私たちを驚かせ、喜ばせてくれることでしょう。そしてそれはきっと長い、長い間私たちの心と記憶に残るものになるはずです。

- ・アストゥルバル “チェオ” ・ウルタード（クアトロ、バンドーラ、ギター）
- ・ダビ・ウルタード（クアトロ）

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA・大阪アーラ)

私たちは、日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本AALA）の地方組織です。1963年5月24日に創立しました。

非核・非同盟の日本と世界をめざし、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの非同盟諸国を中心に、世界の人びととの友好・連帯の活動をしているNGO（非政府組織）です。

非同盟とは、どの国とも軍事同盟を結ばず、対等・平等の国際関係を持つことです。いま、この非同盟が世界の主流となっています。

しかし、日本政府は日米安全保障条約という軍事同盟を結び、日本には戦後70年以上たった今も130もの米軍基地があり、その維持・増強の費用まで負担

するという異常な事態が続いています。

私たちは、“世界を知って日本を変えよう”のローガンのもと、学習を深め、世界の人びとと連帯し、民主団体や労働組合との共同をひろげ、憲法を生かし、日米安保条約を廃棄し、米軍基地をなくし、非核・非同盟の日本と戦争のない平和な世界をつくるために活動しています。

21世紀の世界を 平和を願うAALAの
人々とともに あゆみませんか

世界で広がる平和の共同体

アジアでは、ASEANを中心とする平和のアジア共同体が大きく前進しています。

こうした変化は、貧困と格差を克服し、平等でゆたかな社会をめざす草の根の運動が土台となっています。